

日本ウマ科学会 2020年度 第2回常任理事会

日 時：2019年2月21日（金）13：30～15：10

場 所：日本装削蹄協会 会議室（JRA 新橋分館 7階）

出席者：青木 会長
田谷 副会長
平賀 副会長
笠嶋 庶務担当常任理事
楠瀬 編集担当常任理事
桑原 国際担当常任理事
近藤 学術担当常任理事
和田 広報担当常任理事
佐々木 臨床担当常任理事
成田 事務局長

欠席者：半澤 会計担当常任理事

オブザーバー：高橋敏之（JRA 総研 臨床医学研究室長：次期庶務担当常任理事）

議題

青木会長 挨拶

1. 第32回学術集会開催報告・・・・・・・・・・・・（近藤・事務局）
2. 2020年活動計画について・・・・・・・・・・・・（笠嶋・事務局）
3. 役員の変更について・・・・・・・・・・・・（笠嶋・事務局）
4. 第33回学術集会予定・・・・・・・・・・・・（近藤）
5. その他
 - 1) 第一回および第二回認定馬臨床獣医師認定試験について・（佐々木）
 - 2) 臨床委員会企画の準備状況・・・・・・・・・・・・（佐々木）
 - 3) 学会賞・奨励賞・功労賞の選考について・・・・・・・・・・・・（事務局）

議事概要

議題 1.

- 第 33 回学術集会では、一般演題 50 題（対昨年比+12 題）、シンポジウム（1 題）、臨床委員会主催の招待講演（1 題）および症例検討会が行われ、有料参加者は 430 名（会員 286 名・非会員 80 名・学生 64 名）であった。昨年は参加者 387 名（会員 262 名・非会員 82 名・学生 43 名）
- 倉田評議員の司催により、企業展示会場の一隅にて伯楽会会員 5 名による「馬の絵画展示」を行った。
- 協賛企業 20 社による企業展示ならびに同会場にて飲み物サービスを行った。
- 会場使用料は値上げにより増加したが、今後も参加費収入との収支バランスは維持できる見込みである。
- 臨床医委員会主催の招待講演、症例検討会では、外国人講師を 2 名招待したが、カタールー日本間の交通費が VetPD から支出されたため、交通費支出が大幅に減少した。

議題 2.

- 笠嶋庶務担当常任理事より、2020 年度活動計画（案）の説明があり、原案どおり承認された。
- 次回の常任理事会までに、各賞受賞候補者を検討する。

議題 3.

- 3/1 付の JRA 定期人事異動に伴い、副会長が平賀敦→和田信也（JRA 総研 所長）、庶務担当常任理事が笠嶋快周→高橋敏之（JRA 総研 企画調整室 長）、事務局長が成田正一→小野圭一（JRA 総研 企画調整室 調査役）にそれぞれ変更となる予定。その他、評議員の伊藤幹→蘆原永敏（JRA 美浦 TC 競走馬診療所長）、学術委員会委員の佐藤文夫→守山秀和に変更となる予定。

議題 4.

- 第 33 回学術集会は 2020 年 11 月 30 日～12 月 1 日に KFC Hall and Rooms にて開催予定。
- 2 日目午後に「1. オリンピックを終えて 一馬術競技の獣医学的対応を振り返るー（案）」または「2. 小格馬やおとなしい乗用馬の積極的利用について考えよう！（案）」を開催予定。
- 臨床委員会主催の招待講演については、Dr. Martin Krarup Nielsen（Equine parasitology at Maxwell H Gluck Equine Center at the University of Kentucky）による「馬の寄生虫疾患の診断・治療・予防プログラム（仮）」を開催予定。
- 2 日目に第 2 回認定馬臨床獣医師認定試験（60 分）を行う予定。

- 一般講演以外のプログラムは、次回常任理事会までに確定させる。

議題 5. 1)

- 佐々木臨床担当常任理事より、第1回認定馬臨床獣医師認定試験について、実施概要が報告された。
- 第2回認定馬臨床獣医師認定試験の試験案内について説明があった。

議題 5. 2)

- 佐々木臨床担当常任理事より、臨床委員会主催の招待講演および症例検討会は、**Dr. Martin Krarup Nielsen** を講師として、馬の寄生虫関するテーマで開催準備中であることが報告された。

議題 5. 3)

- 特に検討事項はなし。次回の常任理事会までに受賞候補者を検討する。

その他

今後、絵画展については、伯楽会会員だけでなく、当学会の会員の作品展示を受け入れる方向への対応について、会長が倉田評議員と協議することとなった。